

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関と事務室に理念を掲示し、互いに共有しながら実践につながるよう努めている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内会へ加入している。回覧板を届けたり花壇の花を頂いたり、地域住民の一員として日常的に交流する機会がある。	広い形で地域交流を検討してはどうか。グループホームが地域の拠点であること。また拠点の役割を地域住民は、共通認識として理解し合っているのだろうか。例えば、認知症相談など。評価項目3にも共通することだが、具体的な取り組み内容を記述した方が良いと思う。我々も初めて目にしたもので(自己評価)どのように記述されるものなのか、分からないながらもではあるが、評価項目の捉え方について話させてもらった。外部評価について理解を深めながら、地域包括も管理運営に携わっていきたいと思う。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域包括、民生委員また同業者も会議に参加しており、お互いに情報交換しながらサービス向上に活かしている。	「じゅうぶんに出来ている」項目であることであり、その他それ以上の言及が運営推進会議上では見られなかった。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市職員は運営推進会議に参加しないが、事業者団体の研修に協力してもらっているほか、エイジフレンドリーパートナーとして施策に参加している。	「ほぼ出来ている」項目ではあるものの具体的なアドバイス・要望には至らなかった。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束等適正化委員会の開催と内部研修を行い、身体拘束や不適切なケアについて学び、取り組んでいる。また、緊急性がない限り玄関は施錠していない。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トリプルロックやベッド柵の配置による身体拘束、ほか不適切なケアに該当するケースについて、事業所内および複数事業所による研修を継続して行うことにより職員の理解を深めている。	

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修にて虐待防止について学ぶ機会を持ち、虐待が見過ごされることがないように防止に努めている。		④. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止窓口担当者(2名)を任命・配置し、気兼ねなく報告や相談ができる体制にしている。これも事業所内および複数事業所による研修を継続して行うことにより、職員の理解を深めている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前、成年後見制度を利用した利用者があり経験はある。次なる機会に備え研修等を企画し学んでいきたい。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	④. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居ほか、改定などがあつた際には文書のみならず電話で補足説明も行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議や電話でご家族とやりとりしている。		④. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプラン作成時における家族からの確認と要望のくみ上げを基本にしながらも、面会時の職員との会話や、LINE・公式LINEでの意見交換も行える体制をとっている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミーティングで職員と話し、意見を聞いたり説明をしたりしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	④. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各家庭の事情などに配慮して急な休みに対応してくれる。お正月手当があつたり給与がしっかりしている。		④. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	小規模事業者だからこそ余裕をもった勤務配置を目指し、有休消化率の向上を図っている。個々の職員の特性に合わせた役割分担を行い、女性活躍推進法の一般事業主行動計画を作成し届け出ている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	④. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が受けたい研修の費用を会社が負担してくれる。職員に必要な研修をみつろってくれる。		④. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者自身が、秋田市内や南部地域の複数事業所連携の立ち上げを行っており、必要性の高い研修を自分たちで企画・実施できている。なお受講は勤務時間として計上している。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	南西部地域認知症ケア勉強会や運営推進会議を開いている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者ができる家事を手伝ってもらっている。今までの人生経験から、職員にアドバイスをくれることがある。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人様のスマートフォンで家族と電話することがある。コロナウイルスの流行で減ってしまったが、面会や外出をたまにしている。	コロナ禍の頃から、違った形や体制の中でこれまでに、取り組んできたことがあると思う。記述枠が限られているかもしれないが、前向きな場面や支援をもっと記述し宣伝(実践してきたこと)して良いと思う。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前の生活歴や過去の環境を確認している。入居後はご本人、ご家族との会話から得た情報を共有、更に把握に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月ミーティングを行い課題とケアを確認している。3ヶ月ごとに介護計画作成専門職から得た情報を共有。ケアに反映するよう努めている。	現行の取り組みについて会議上では意見は特に挙がらず、これを継続していくことが求められるとした。	ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	こちらも小規模事業者であることの機動力とトップダウンのスピード感をもって業務改善を行える。また意見や情報を速やかにかつ組織的に共有・判断することも小規模ゆえのメリットとして継続していきたい。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子を個別に記録、気づきや変化を職員間で共有している。		ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2年前から介護記録・バイタルほか数値・申し送りおよびヒヤリハットをタブレット端末で入力・管理している。これにより複数のファイルを持ち歩くことなく管理・確認することで活用している。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問理容、訪問医療(歯科含め)を継続している。	多機能化について現行以上を求める意見は挙がらなかったが、次年度以降「その時々生まれるニーズ」への対応について議論を生む可能性を残している。		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人様の状況により限られた状況の中で回覧板の配達など日常的な支援、会議時町内役員(民生委員)様の参加により情報共有などに努めている。	地域資源との協働とは、地域のかや場面をかりて生活をしていくことが求められる項目だと思う。民生委員、ボランティア、訪問美容など地域資源を把握し支援に努めていることと思うが、詳しく記載してもいいと思う。		
	21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族の意向を確認しながらかかりつけ医他外部受診できるよう配慮している。受診の際ご家族との情報共有に努めている。		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は医療機関の求める情報をサマリー等で提供。退院前は相談室、病棟とやり取りを行い情報共有して状態把握に努め、退院後も支援を継続して行う。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の受診時に医療相談室に立ち寄る。介護と医療の連携についての取り組みや活動が市内でも目立ってきているので、当事業所も可能な限りセミナーや意見交換会に参加し横のつながりを強化するよう努めている。	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状況に応じて都度ご本人ご家族と情報共有しながら検討している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前、見学や事前面談のタイミングから重度化した際の準備と対応について対話を設けている。入居後も要介護度の変更や入退院の都度、主治医からのアドバイスを基に意見交換を図っている。	
	24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	連絡先や備品の確認を定期的に行う必要がある。訓練や研修を繰り返し行うよう努めていきたい。		

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	避難訓練や運営推進会議を用いて協力体制が出来ている。火災時の訓練は行っているがそれ以外は実施出来ていないのでこれから定期的に行っていききたい。	課題の一つとして取り組んでいきたい項目である災害対策であるが、前回の会議でも話したように夜間は職員が1名の為、地域住民の協力が不可欠である。 特に火災と地震時の夜間帯の避難になるが、建物の外に避難した入居者様を避難場所(公園)へ誘導するご協力を考えている。近隣にお住いのご家族の協力ももらえればと思う。 今後、運営推進会議を通して話し合いを重ね、新たな体制をつくっていききたい。 また、地域に協力を求めるだけでなく災害時など含め当ホームでできること、地域の一員としてできることを見つけ出しながら更なる運営に努めていききたい。	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員による習熟レベルの差が大きい。訓練や研修はじゅうぶんと言うことは無く継続しながらギャップを埋めていきたい。 運営推進会議上でもテーマになることはこれまでもあったものの具体的な協力体制や文書の取り交わしには至っていない。 当事業所は開設20周年を迎えるがその間、法令の変更や震災そして環境やシステムの変化による影響・対応に追われてきた。見えないゴールに向かって関係各所との関係を維持していききたい。
----	------	---	--	---	---	--	--

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の気持ちに寄り添い声かけは明るく、はっきり伝わるように心掛けている。		ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	相手の気持ちを慮り傾聴することのできる職員が揃っている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩などの外出の希望に、すぐに応じることが出来ない時がある。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一緒に作業出来ている。		ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その日の体調や気分を考慮し入居者自身の使命感や達成感を尊重しながらも第一には楽しく時間を共有できるよう心がけている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の希望に沿った食事を職員間で情報共有出来ている。水分量が少ない方には好みのものを提供できるように用意している。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員が見守りの中行う。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ときには入れ歯を外したくない方の羞恥心を尊重することもありながら、概ね毎食後の口腔内の清潔保持ができています。誤嚥性肺炎を予防するためにも継続していきたい。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄表で個々の排泄パターンを把握し食事、水分量、下剤など便秘の予防に取り組んでいる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	おむつやパッドの使用を減らすことが目標になってはならない。あくまでも快適な生活を継続するために使用することは躊躇しない。しかしながら残存機能の保持さらには尊厳の保護のために、より本人本位でのプランやアドバイスを行っていきたい。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	基本週2～3回の入浴となっている。曜日、時間帯は職員が決めているが体調、気分に合わせて曜日、時間をずらして再度声かけをしている。清潔保持のため週2回入浴して頂けるよう声かけを工夫している。			
	33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	基本的には自由に休息していただいている。安眠できるよう気温湿度に注意している。ホールテーブルには皆様が制作された折り紙、季節の花など飾りゆっくり過ごしていただけるように支援している。		
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬の目的や副作用、用法用量を理解し支援出来ている。不明な点は看護師に確認している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	当事業所は配置基準にはない看護師が配置されている。これにより利用者・利用者家族・医療機関・職員を中心にいて取り次ぎ、とりなすことが出来ている。
	35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設内の家事(洗濯たたみ、洗濯干し、食事の準備、後片付け)や施設の畑での野菜栽培など入居者に応じた役割を担ってもらえるよう支援している。	「ほぼできている」項目であり会議上で具体的な言及には至らなかった。	

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族様からの外出依頼があれば日時を調整し、なるべく外出できるよう支援している。また天気の良い日は外で外気浴をしたり、近くの公園まで桜を見にいったりと季節感を感じて頂けるよう支援している。	外出や催しへの参加という企画力について現行以上を求める意見は挙がらなかったが、次年度以降「本人の希望」などへの対応について議論を生む可能性を残している。		
	37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本お金を使うことはあまりないが、お金を所持されている方もいらっしゃる。外出時に飲みたい飲料や必要な物を買われている。お金を持っていることで安心感を持つこともできている。		
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族様に安心して頂けるよう電話をしたい時にすることが出来るよう支援している。携帯電話を所持されている方はご家族様に電話出来ている。その他の方はご家族様との絆が途切れないよう手紙のやり取りが出来るよう支援していきたい。			
	39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	台所と食堂、リビングが近く、音や匂いなど五感を刺激し食の楽しみとなっている。観葉植物や写真、壁に季節を感じられる装飾を行っている。季節の生花を飾る。手すりの配置など安全な空間の整備をしている。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	開設前に様々な施設建物を見学し、それらのよいところを設計に反映させた建物であり認知症の「自宅ではない在宅」を実現している。また立地が利便性に優れながらも閑静であり都市の街並みと緑の調和がとれた位置にある。

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のコミュニケーションを大切に關わることで、利用者様の思いを尊重し望まれている思いを共有している。			
		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族との面会時、ご本人との日々の会話の中でお聞きした情報を共有し、日常生活に反映できるようにしている。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	朝のバイタル測定、ご本人からの訴え、日々の職員の状態観察を共有し、本人の身体状況に応じた支援を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々さらには昼夜刻々と変化する心身の状態と集団生活における他者との関係性を記録し朝礼その他の機会に職員間で共有してケア・支援に活かしている。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事など他者に合わせてもらう時間はあるが、なるべく本人のペースで生活できるよう支援している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時になじみの物を持参していただき在宅時と変わらないような空間づくり、写真や手紙、大切にされているものを飾られている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	危険のない範囲でそれは可能となっている。昨今スマートフォンを自室に持ち込むことについては論議されているところであるが、本人と家族の要望に応じて関与するようにしている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染予防のため外出は控えていたが少人数でのドライブや散歩、買い物の支援を行っている。	自己評価が「B」であることから向上の必要性を残しながらも会議上での言及には至らなかった。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事作り、洗濯干し、畑作業など個々の力に合わせて役割を持つことで楽しみややりがいにつながるよう支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	過去の思い出話や経験、暮らしぶりを語り合ったり日々の暮らしの中でこれまでの生活が継続できるよう活動の機会をつくっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	心理的に落ち込んだり不安が高まることは老年期でなくとも季節の移ろいや体調によって現れるものである。一概にそれをネガティブにとらえず寄り添い傾聴し共有することも認知症ケアの側面としてチームで取り組んでいきたい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症予防の為、外部との接触は少ないが、犬の散歩がてら立ち寄ってくれる方や外気浴中、下校する子供達に会うなどできる範囲で交流の機会が作れるよう努めている。	「あまりできていない」項目ではあるが会議上で具体的な言及には至らなかった。		

49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<p>A. 十分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	職員とは馴染みの関係が出来ており、喜怒哀楽を共にしながら安心して過ごすことが出来るよう支援している。	グループホームの機能としての認知症ケアが目指す成果そのものである。自己評価は「B」であるが「A」としてよいのではないか。	<p>Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	離施設に対応した記録が少ないことが挙げられる。帰宅欲求が無いわけではないものの、行動に移すケースが一般的な入所施設よりも少ないと捉えている。自宅に帰ることを望みながらもその日その日のホームでの職員や他の利用者との生活が快適であるからこそこの事象であり、それは「よりよい日々をおくることができている」と言えるのではないだろうか。
----	----	--	---	--	--	---	---